

『社会人基礎力の育て方関わり方』 研修会実施報告

日時 : 令和3年6月5日(土) 9:00~16:15
対象者 : 係長
参加者数 : 対象者25名 一般参加32名
目的 : 社会人基礎力を持ち、自らがモデルとなり現場育成ができる

<講師の紹介>

聖マリアンナ医科大学
看護師対策部門担当執行役員
ナースサポートセンター長
高橋 恵 先生



【主な出版物】

- ・ナレッジワーカー 経験のワザ・教え方の極意：日総研
- ・看護職としての社会人基礎力の育て方：日本看護協会出版会
- ・看護のための経営指標「見る・知る・活かす」使いこなし超入門：メディカ出版

<内容>



新型コロナウイルスの影響により、講義はリモート形式で行いました。まず「社会人基礎力」の3つの能力と12の能力要素について、さらに「新・社会人基礎力（人生100年時代の社会人基礎力）」では「①何を学ぶか②どのように学ぶのか③どう活躍するのか」の新たな3つの視点が加わったことをわかりやすく説明して頂きました。今、臨床に求められる看護職は、社会人基礎力を発揮できる人材であるため、社会人基礎力を基盤とした自律・自立した人材の育成が重要であると話されていました。

具体的に「社会人基礎力の評価の方法」「社会人基礎力の鍛え方」「社会人基礎力の育成ポイント」「社会人基礎力を育成するための研修方法」など、事例も交えながら説明して頂きました。リモートの講義でしたが、個人ワークやグループワークの時間もあり、先生とも活発な質疑応答をすることができ、とても充実した講義内容でした。「指導に関わる者がイキイキと働く姿、社会人基礎力の発揮こそ、後輩への大切な贈り物（育成）に他ならない！」という言葉が印象的でした。社会人基礎力を発揮し、自らがモデルとなる指導者・管理者となり、人材育成を担っていくために、今回の研修で学んだことを役立てて欲しいと思います。